

がん撲滅と医療従事者へのエールを込め

## 生命の駅伝でタスキをつなぐ

「第27回生命の駅伝」が5月31日、南部・熊野市エリアで行われました。

今年は、がん研究を支援するための募金活動と、がん研究の重要性の啓発に加え、コロナ禍で対応に尽力されている医療従事者にエールを送るという目的のために行われました。

出発に先立ち、役場玄関前で西田町長が町民から寄せられた募金を生命の駅伝実行委員長に手渡しました。

その後、一行は、中継場所であるウミガメ公園まで走りました。



役場を出発するランナーたち

Town topics  
5 / 31

授業も新しい様式に

## 井田小がオンライン授業を実施

井田小学校6年生は5月31日、議会や議員の仕事を学ぶためオンラインでの授業を行いました。

社会科で議会について学ぶため、本来なら役場内の議場を見学する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの授業となりました。

児童たちは、画面に映し出される議場を見学した後、「なぜ議員になろうと思ったのですか」「議会がよく話されるのはどんなことですか」などの質問を町議会議員の榎本健治議員、萩野進也議員、浅田和江議員に投げかけ、それに対する回答を熱心にメモを取り、学びを深めていました。

Town topics  
5 / 31



01. 質問に対する回答を熱心にメモをとる様子。  
02. 手を挙げて質問する児童たち。



ホタルを守り、人間にもやさしい町づくりを

## ホタルが飛び交う美しいまちに

ほたるを守る会は、ホタルについて学び、環境問題への意識を持ってもらおうと、市内の小学校で、ホタル出前授業を行いました。神内小学校では6月1日、ほたるを守る会の蔵本一範会長と矢熊敏男さんが学校を訪れ、全学年を対象に学習会を実施しました。

授業では、写真やイラストをスクリーンに映しながら、ホタルの種類や特徴のほか、生息場所や貴重な生き物を守っていくために何が必要かなどを解説しました。

児童たちは、ホタルの説明に興味深そうに聞き、ときには質問をしながら、ホタルについて学んでいました。

Town topics  
6 / 1



01. 授業を行う蔵本会長と矢熊さん。02. ホタルの標本にくぎ付けになる児童たち。



3年生が初めてのこころみ

## 相野谷中がオンラインで交流学習

相野谷中学校は6月3日、御浜町立尾呂志学園中学校とオンライン交流学習を行いました。

交流学習では、生徒たちは緊張しながらも、画面を通して英語で自己紹介を行い、好きなスポーツやアニメ、趣味などを交互に話していました。交流後、生徒たちは「初めてのリモートで緊張した」、「他校の生徒のことが知れてよかった」などと感想を話していました。

今後は、GIGAスクール構想により整備された1人1台のパソコンを活用した、さまざまな授業形態や学習活動のさらなる充実が期待されています。

Town topics  
6 / 3



01・02. パソコンを通じて英語で尾呂志学園中学校と交流した相野谷中学校の生徒たち。



操作員として尽力された功績をたたえ

## 水門等操作員が河川功労者表彰受賞

公益社団法人日本河川協会は6月14日、一級河川熊野川・相野谷川の水門等操作管理に長年従事してきた札辻二一さんを「河川功労者」として表彰しました。

表彰された札辻さんは、45年以上の長きにわたり、鮎田水門をはじめ相野谷川排水機場などの操作員を務められ、施設の点検整備を定期的に行うとともに、洪水時には昼夜問わず、地域の災害・被害軽減に尽力されました。

今回はその多大な功績と、操作員としての模範となることから受賞されました。

Town topics  
6 / 14

6、7月の毎週土曜日には一般参加者も募集

## ウミガメパトロールを開始

町から委嘱を受け、井田海岸などに上陸するアカウミガメの保護活動を行っている紀宝町ウミガメ保護監視員の6人(萩野進也さん、木村一樹さん、西昌志さん、前地敏久さん、杉浦利也さん、前地正喜さん)と地域おこし協力隊の伊藤柊也さんは6月1日、ウミガメパトロールを開始しました。

これは、ウミガメの上陸や産卵を確認し保護するため毎年6月から7月にかけて行っているもので、初日となる今回は通常のパトロールに加え、浜の距離を測る定点観測を行いました。

また、パトロール開始にあわせて、ウミガメ保護監視員らと吉野熊野国立公園管理事務所職員、役場職員が協力しウミガメの産卵シーズンを迎える井田海岸の清掃活動を行いました。

Town topics  
6 / 1



01. ごみを拾いながらパトロールする保護監視員ら。  
02. 清掃活動を行う様子。

